

## 「共謀罪」法施行の日忘れまい

無職

(東京都 90)

11日、今日は忘れてはならない日だ。「共謀罪」の趣旨を盛り込んだ改正組織犯罪処罰法が施行された。

父が治安維持法によって特別高等警察にしょつ引かれたのは1938年だった。ただ唯物論研究会を作り、仲間と集合しただけである。保釈までの2年間、各地の警察署の狭苦しい留置場をたらい回しにされた。

元々詩が好きだった父。作品の中に、「うじ虫の歌」という悲しい一編があった。

皆が渡された新聞紙の小さい紙を手便所に前に行列している。遠くから木刀で殴る音

が聞こえてくる。便所に入ると、うじ虫がはい上っては落ちる……。

留置場では逃亡を防ぐため、決められた時に監視付きでしか便所へ行けない。うじ虫を見て父は「俺もうじ虫になった方がましだ」と嘆くのだ。

父が何をしたというのだ！仲間と唯物論を勉強しようとしただけだ。それを共産主義に通じる「危険思想」とされたのだ。「共謀罪」も同様に解釈次第で犯罪になるのではないか。

この間の母と私たち家族の暮らしを、山田洋次監督が吉永小百合さん主演で映画「母へえ」にして下さった。父の生前に見せられなかったのは残念だ。